

どこまでも正攻法



西荻塾

高校受験
大学受験

高卒生枠

募集要項

1. 指導体制のあらまし
2. 指導の特徴——指導 4 本柱
3. 塾の施設について
4. 受講料のシステム

己と向き合い、早期に超克し、そして跳躍する。

■ 西荻塾の高卒クラスは、志望校・志望タイプ別に柔軟な授業を編成します。

①4月～7月、②夏期講習、③9月～11月、④冬期・直前期と4つの期間に分けて柔軟に対応をします。

【まず、甘さを消す】

既卒生の基本は、7割くらいでいだろう、この程度の演習でいだろう、という「～だろう」という甘さを消して、得点に貪欲になることです。そのための努力の道筋と授業における徹底した修正と鍛え上げを実施します。講義と徹底した鍛錬指導により、塾全般の指導が腹を括った覚悟と真剣に向き合うクラスです。

【質と量を追求し、結果にこだわる】

既卒生として、「専業受験生」となった以上、その生活においては、徹底した学習の質と量の確保が生業となります。来たるべき目標（志望校合格）に向けて、不断の努力を追求してください。そして、きちんと結果に向き合うこと。結果に向き合って克服の機会が多ければ多いほど、志望校は間近になる。その過程にしっかりと向き合う姿勢を育て、最後まで受験生を支えます。

ご留意事項：大手予備校等の高卒生クラス等とは、かなり異なるシステムになっています。あらましをご一読の上、ご不明な点等はお問い合わせください。また、事前に入塾相談を必ず実施させていただいております。また、個別に、綿密な指導を行うため、定員を10名程度に絞らせていただいております。

指導体制のあらまし

● 各人別の学習スケジュールの設計

少人数に絞り、徹底したコミュニケーションを密に行いながら、短期、中期、長期それぞれの観点から、一人一人に最適な学習方針を組み立てます。使うべき教材や授業方針、時間の使い方などについて、随時修正を繰り返し、時機に応じたスケジュール管理を実施します。

● 授業から自習の密な連携

授業は授業で「自習は君たちにおまかせ」というスタンスは取りません。直接授業を担当する講師陣が、授業で向き合った弱点を、即補強し、得点に変える連携した自習指導を行います。

● 絶対的な演習量の確保

既卒生は、「現役時の演習不足」を肝に銘じ、能動的かつ意識的に演習量を確保すべきです。授業と連携しながら、タスクとして演習量を確保します。

● 得点には常にシビアに向き合う

「7割くらいでいだろう」「このくらいやればいだろう」「明日でいだろう」これらの「だろう」は甘えです。どこまでも自分と客観的に向き合い、向上を目指す姿勢が必要です。ときにはうまく行かなくて地団駄を踏むことはあれど、歩みは止めない。西荻塾では、こうしたメンタルの強さも、コミュニケーションを密に図りながら、しっかりと築いていきます。いだろう」「明日でいだろう」これらの「だろう」は甘えです。学校なき時分、どこまでも貪欲に得点に向き合い、上昇し、大学進学を勝ち取らんとすることを怠らない姿勢を育てます。

● 年中無休で塾を利用できます

朝7時から午後10時まで、年中無休で自習室を利用可能です。高卒生は、ご希望に応じ、冷蔵庫や電子レンジを備えた自習専門ルームに、個人専用キャレル（専用本棚）を貸与しますので、学習道具は、塾に置いておき、年間を通して自習場所を確保することができます。

※キャレル貸与なしの場合は、自由席の自習室をご利用になれます。

● 開講科目

英語・数学・国語（現代文・古文・漢文）
物理・化学・生物（基礎科目を含む）
世界史・日本史・地理

※授業は、その都度最適なカリキュラムの調整を施しながら、少人数による問答を盛り込みながらのライブ授業です。
※入塾時の実力診断により、個別授業にて対応する必要がある場合には、授業回数などのカリキュラムが異なります。

● 毎週のチュートリアル

それぞれ、担当講師により、授業の理解度・自習の進捗などについて、個別に面談の機会を設けています。それ以外に随時必要に応じて面談や質問等も可能です。少人数制既卒コースならではの、しっかりとしたコミュニケーションに基づく指導を、年間を通して行います。

【既卒生クラスの入塾までの流れ】

入塾面談

志望校・現役時の取り組みや成績状況などを付き合わせながら、1年間の方針を面談します。

体験授業・学力診断

入塾面談の結果を前提として、複数回の個別授業（体験）及び学力診断を実施します。

授業設計・自習設計

授業及び自習方針の設計を行います。この段階で、課題や自習教材をお渡しします。既にお持ちの教材なども活用します。

塾内設備のご説明

塾内設備や演習システムの利用方法などのご説明を行います（その日から塾の学習利用が可能です）。

三者面談

当塾での方針や自習の取り組み、短期・中期・長期での見通しなどを面談します。※同日、ご契約手続を実施します。

年間授業計画について（全志望型対応）

最大5名前後の少人数限定クラスにより、各科目50分～120分の授業を各科目2～4回、さらに1対1指導の時間（とりわけ12月以降の志望校対策は個別）を週に何度も行いながら、授業前の予習・自習状況の把握したうえで、生半可な理解がみられる箇所、演習が足りない箇所、知識不足が露見している箇所を洗い出し、即時修正を加えていただきます。そして、さらにその内容を血肉化してもらうため、授業と連携して自習室での徹底した復習と演習指示を与えます。学習指針について、現状をつぶさに分析しながらの随時の補正、追加の手厚さが特徴です。

【前期スケジュールリング例】

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
英作文(個)	難関数学1		個別面談	七国語	難関数学2
		英文解釈	英語演習	数Ⅲ(個)	
物理1	七地理	物理2		理論化学	無機化学

【国公立理系志望者】の6月までの授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	難関数学1		個別面談		英語長文
英作文(個)	現代文論述	英文解釈	英語演習	難関数学2	世界史2
	世界史1		古典記述	理科基礎	

【国公立文系志望者】の6月までの授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	難関数学1			数学重点演習	難関数学2
数学演習1	数学演習2	英文解釈	個別面談	英文法語法	英語特訓
				理論化学	無機化学

【私立理系（化学選択）志望者】の6月までの授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
古文	難関数学1		国語演習	数学重点演習	難関数学2
私大現代文		英文解釈	個別面談	英文法語法	英語多読演習
	漢文				

【私立文系（数学選択）志望者】の6月までの授業例

【4月・5月】 原理原則に忠実に・理解に支えられた知識の整理

現役の受験時に、それぞれの形で詰め込みをした「知識」に「正確な理解」という裏付けを早期に行います。せっかく詰め込んだ知識を今度は糧に変えることが目標です。5月下旬または6月上旬の模試で一定の結果を出すことが目標です。

★4月末～5月に合宿を実施し、受験生同士の結束と4月に詰めた知識の総括を行います。

【6月・7月】 演習不足の解消と密度の濃さを追求する鍛錬期間

模試の自己採点等を踏まえ、科目別に徹底演習指導を実施します。当塾では、詰め込み期間と呼んでおりますが、4月～5月の原理原則の理解をもとに、時間を短めに区切り、かなりの演習課題を課します。日々コミュニケーションを取りながら、進捗を確認、ハッパがけや効率のよいやり方など、それぞれに合わせて伴走指導を行います。講師とチームを組み、友人と切磋琢磨。めざましい精神力の成長を目の当たりにする時期です。

【夏期講習～9月】 志望校への照準を定め、実戦的な演習へ

7月までに詰めた知識や演習の2周目、3周目に入ります（反復は極めて重要）。ただ漠然とはではなく、確かな方法をコミュニケーションを取りながら効率よく行います。合わせて、過去問等スコアが客観的に把握できる演習を積み、秋以降の実戦模試等に備えます。この段階で志望校へ向けた確かな照準が定まることがポイントになります。★9月に強化合宿を実施予定

【11月まで】 攻守のバランスを取りながら着実に得点を伸ばす

スコアを常に意識し、各種模試および塾内での過去問、演習を活用しながら、抜け穴を一つ一つ埋め、同時に「攻め」となる強みを一挙に伸ばします（反復すべき教材の指示も具体的に与えます）。攻守のバランスを取りながら、完成へ進みます。この頃には、勉強していないと落ち着かない、という機についてひたすらに努力をすることが苦にならない生活になるはず。この頃には、勉強していないと落ち着かない、という機についてひたすらに努力をすることが苦にならない生活になるはずです。

【直前】 だからといって、変わったことをする必要はない！ 総仕上げは、徹底した復習にある。

最適な受験戦略を練りながら、志望校を絞り込み、あとはそこへ向けて一直線に進みます。直前だからと変わったことをする必要はありません。これまでの歩みが確かに軌跡として描かれていますので、自ら積み上げてきたものを何度も何度も復習し、演習によって常に自らを相対化する時期です。

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
志望別英語(個)	志望別数学(個)		個別面談	選択科目	難関数学2
		英語演習		志望別理科(個)	
物理演習		物理		化学演習	有機化学

【国公立理系（または早慶）志望者】の9月～11月の授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
英作文	難関数学1	古典論述(個)	個別面談		多読英語長文
志望別英語(個)	現代文論述(個)	英文解釈	英語演習	志望別数学(個)	世界史演習
	世界史			選択科目	

【国公立文系志望者】の9月～11月の授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	難関数学		物理1	物理2	私大数演習
志望別数学(個)	志望別英語(個)	英語演習	個別面談		理数特訓
多読英語長文					物理重点演習

【私立理系（物理選択）志望者】の9月～11月の授業例

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
志望別古典(個)	志望別現代文(個)		志望別英語(個)		多読英語長文
国語特訓		英文解釈	個別面談	英語知識総整理	世界史演習2
	世界史演習1				

【私立文系（世界史選択）志望者】の9月～11月の授業例

【後期スケジュールリング例】

※当塾の指導のあらましを実現するため、柔軟な編成を実施しますので、大手予備校と異なり、1週間のスケジュールがびっちり固定化されたものにはなりません（ただし、基本的に週5回以上の通塾が必要ですので）ご理解の上、ご検討ください。

■ 専門性に裏打ちされた授業

あ、なるほど、と腑に落ちるまで

西荻塾は、受験生が学習の過程で抱く知的好奇心に応えうるだけの専門性と素養を十分に身につけた講師達が待っています。「ずっと腑に落ちるその瞬間まで」一つでも、いつまでも受験生達と語り合う時間を大切にしたいと思います。

微積分やベクトルのふわっとした感じや、なんとなく読む評論文、雰囲気読んでいた英文解釈…是非、教室での専門性に裏打ちされた論理的かつ明快な説明に触れていただき、目から鱗が落ちる瞬間を体験してもらいたいと思います。

解ければいい、では解けないのも事実ですし、受験勉強であっても、知的好奇心に素直になってほしいと考えています。

「わからない！」でも、「もっといいやり方がある！」でも、「この考え方の背景は？」でも、その正直な叫びを徹底して塾という場でぶつけて欲しいと思います。

【卒塾生の声】

●自分たちのレベルに合わせ、徹底して原理原則から授業が行われます。自分の志望校に向けて、知りたいこと、理解したいことがピンポイントでしっかりと聞けるのが良かったと思います。一緒にやっている仲間の答案がすごく良かったのを聞いたときに、アタマに火がつかしました(笑)

(一橋大合格者)

■ 添削結果を活用した授業

答案に全てが現れる。答案で決まる。

試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。大学入試共通テストでも、記述式が導入されます。

たとえば、いわゆる「自由英作文」を課す大学。難関大とよばれる大学では当たり前となりました。しかし、これを英作文の授業で扱うとして、添削抜きにどう講義をするというのでしょうか。そして、添削結果に目を通さずして、目の前の塾生たちに効果的に授業が出来るのでしょうか。

西荻塾は、効果的な授業を行うために、実際に授業を担当する講師が授業前に直接添削を実施します。添削は、機械的なものとどまらず、記述の方法から、内容の深さに至るまで、入試で求められる記述力を添削によって徹底して鍛えます。さらに、添削後すぐに授業で活用することが前提となっていますので、提出と復習がタイムラグなくして可能です。

【卒塾生の声】

●一番困るのが、自分の書いた答案がどう評価されるのかということと、どうやったら点がもらえる答案になるかということでした。授業では、英作文であれ、数学であれ、国語であれ、全て先生たちの答案チェックが入ります。最後は、添削された答案を見直すことで、点の取れる答案作りへの自信が生まれました。(北海道大合格者)

指導の4本柱

■ 定員は10名程度

現在の学力より、意思を重視します

現在、高卒生クラスは、10名程度に定員を設定し、定員が充足した段階で締め切っております(2017年は4月、2018年は3月で締め切りました)。

大手予備校等の高卒生クラス等との違いは多数あれど、徹底したコミュニケーションに基づき、綿密な指導を行うためです。

そのため、ご入塾を希望される場合には、恐れ入りますが、入塾相談および入塾審査を実施させていただきます。

まず、重視するのは、ご本人自身のリベンジの意思と、志望校への確かな情熱です。表に表す必要はなく、内に秘めた確かなものがあるかを、丁寧に相談の上、確認させていただきます。その結果、入塾可能と判断した場合には、その時点での学力レベル、理解度などをテストした上で、具体的な年間のスケジュールなどを提示いたします。ご納得いただいた上でご入塾ください。

【卒塾生の声】

●辛いこと、大変だったことを挙げればキリがなく、失敗しかしてこなかった受験生活でしたが、先生方や周りの仲間の支えのおかげで、諦めずに京大を目指し続けられました。僕が唯一の成功したことは、西荻塾を選んだことです。

(京大合格者)

■ 自習指導との密な連携

自習なくして、結果は伴わず。

西荻塾では、授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか…もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちと授業内外でがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。

授業を担当する講師が直接自習にメスを入れることがどれだけ効果的か。西荻塾は創立以来、これをずっと貫いてきました。

自習なくして、結果は伴わず。机について、すぐに実のある学習を自分で行えるようになる。これが目標です。

【卒塾生の声】

●自習室にいて、2つ隣の席の塾生は絶対に休まなかった。いつ見ても、一心不乱にやっていて、それで自分もやらないわけにはいかない。2つ隣の席のあいつがいたからこそ、自分の合格はある。一人では絶対に無理だったと思う。

(聖マリ(医)・東海大(医)合格者)

塾の施設について

■ 常設自習室完備

毎日集中できる専用の環境を整備

西荻塾では、午前7時～午後10時まで年間いつでも利用可能な自習室を完備しています。なお、既卒生は、年間専用キャレル（オプション）をご利用可能です。

●専用キャレルは、指定席（年間占有）・本棚完備で、一回り大きな机になっております（写真準備中）。

●自習室には、専用トイレ、冷蔵庫・電子レンジ、情報検索用PC、Wi-fiも完備しています。また、別校舎をつなぐオンライン質問設備・リスニングスペースも完備しています。



■ 演習システム整備

小テスト・演習はいつでも可能

西荻塾では、生徒用の演習システムを整備しています。授業中には、各種小テスト等が実施されますが、準拠教材をベースに、独自データベースアプリを構築し、出力できるようにシステムを構築しています（当塾でプログラムを組んでいます）。このアプリを操作し、自由に生徒が小テストを作成し、演習できるようになっています。単語テストや英文法、計算テストなど、コツコツと積み上げていきましょう。

また、各種共通テスト対策問題や入試問題演習なども各種出力して演習することが出来ます。

※既卒生の利用料は無料です。

■ 卒塾生の声（施設について）

2016年～2020年受験生の声

●朝からばばずに自分専用のスペースが確保されているので、この1年間は、家では全く勉強せず、自分のいる場所は常に塾でした。クラスの枠をまたいで、合宿と一緒に自習室で勉強する仲間ができて、1年間、目一杯頑張りながらも、とても、居心地のよい場所でした。（都立高卒）

●自分で勉強を進めているなかで迷っているとき、すぐに解決してもらえる空間がとても良かったです。参考書類もたくさん塾に揃っており、自分に合った参考書や勉強の仕方などを随時相談できる環境がとても良かったです。（私立校卒）

●授業の後に、すぐに自習室で復習し、困ったらすぐに聞けたり、類題を出してもらえる環境でした。いつも顔を合わせる浪人生たちが一緒にいる空間では、「私も負けられない」という空気は、自宅では味わえず、朝寝坊したときに罪悪感を感じるようになったのは浪人したときが初めてでした（笑）。（私立校卒）

●志望校は違っても、いつでも安心して勉強に集中し続けられる場所があったのは一番心強かったと思います。センター試験（当時）の類題演習や小テストも自分でたくさん作れるので、模試の前や直前期も、やることに困ることはありませんでした。（都立高卒）

●毎日、伊藤先生と赤星先生、川上先生（※塾の責任者講師）に会えるので、緊張感と安心感がすごかったです。質問しにいったつもりがほぼ授業のように先生たちに説明をさせることもありましたが、アットホームな中でしっかり受験生活が送れました。振り返れば、こんなに勉強した時間はなかったです（私立校卒）。

西荻塾既卒コースの実績（創設2016～）

【国立大】東大・一橋・京大・筑波・大阪・都立大・学芸大
北大・電通大・東京外大

【私立大】早稲田・慶応・上智・GMARCH・理科大
ICU・麻布・各薬科大（薬学部）・東京女子など

※年間平均在籍者数

国立志望在籍者4名・私立志望在籍者5名程度

受講料のシステム

■ 高卒クラス／費用（税抜表示）

各期ごとの諸費用は次の通りです。※宿泊費用込み

対象	受講講座数	授業形式	受講料（前期）	受講料（後期）
高卒	私大専願（3科）	少人数クラス	435,000円	465,000円
	国立型（4科以上）	少人数クラス	540,000円	565,000円

●在籍期間は、4月～2月となり、それぞれ、
【前期】4月～8月まで（夏期講習期間を含む）
【後期】9月～2月まで

と2期に分けて対応しています。

●受験科目が3科目までと4科目以上で授業回数異なりますので、それに依りて費用が変わります。

●1、2月は受験スケジュールを勘案し、授業を前倒して実施する等の対応を取る場合があります。

●年間授業回数は、一般入試・二次試験に対応する科目は、年間50回～60回、共通テスト対策のみの科目は16回～24回を目安に設定されています（学習状況、成績進捗に応じて、柔軟に増減させ、最も効果が上がるように時間割の調整を行っています）。

●入塾時に、クラス入室基準に満たない場合は、個別授業が中心になりますので、授業回数がクラス授業と異なる場合があります。

●年間一括前納には、3%の割引を適用します。

●高3時に在塾していた場合は、上記の受講料から、3%の割引となります。

●AO等で早期合格になった場合は、下記そのほかにかかる費用（教材費を除く）も含めて、月割り精算のうえ、差額をご返金いたします。

■ そのほかにかかる費用（税抜表示）

・入塾金 30,000円

※ご紹介の場合は、10,000円割引となります。

※現役時在塾歴のある方、ご兄弟が通塾されている場合は不要です。

・教材費（年間一括）15,000円／1科目

※教材費は、テキスト代に充当します。

※科目、とは、英語、数学、理科、国語、社会の区別をいい、その細分については、科目とはカウントしません。

（英文法と英文解釈を受講しても、英語1科目とします）

・施設維持費

各期 45,000円（下記専用キャレル利用者は20,000円）

※早期利用開始の場合に、3月分は不要です。

※自習室管理費・光熱費等を含みます。

※年間一括納入することもできます。

・自習室専用キャレル利用料（自習室利用料を含みます）

※前期（4月～8月末） 50,000円

※後期（9月～2月末） 50,000円

※月極は12,000円です。

※キャレルはゆとりある110センチの机に本棚・荷物棚が備え付けられています。引き出しやタブレットやPCを設置することもできます。

※キャレルをご利用でない場合は、現役生と共通の自由席になります。

●**春期、夏期、冬期の季節講習会期間であっても、講習会費用等の追加費用はかかりません。**上記費用が年間に必要な費用のすべてになります。

●兄弟・姉妹割があります。（ご兄弟・姉妹の受講料対象）

■ 個別指導（授業4回あたり）（オプション）

スポット（メインが他塾の場合の併用形態）に西荻塾をご利用の場合

対象学年	授業時間（分）	授業回数	受講料
高卒	完全個別 90分	4回あたり	32,400円

●完全個別とは、授業時間すべて1対1（マンツーマン）による授業です。講師が他の生徒を担当しながらという形式ではありません。

●受講料は、1ヶ月あたりの受講回数によって決定します（回数割計算）。

西荻塾（にしおぎじゅく）

杉並区西荻南3-9-11 フロンティア EXビル3階
（JR西荻窪駅南口徒歩1分）

TEL 03-3334-5415 mail: office@nishioji-juku.jp

<https://www.nishioji-juku.jp/>